



平成29年5月9日

各位

上場会社名 株式会社 PALTEK  
 代表者 代表取締役社長 矢吹 尚秀  
 (コード番号 7587)  
 問合せ先責任者 取締役オペレーショナルサービスディビジョン本部長 井上 博樹  
 (TEL 045-477-2000)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年2月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成29年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,500	480	410	280	25.56
今回修正予想(B)	16,700	600	640	420	38.34
増減額(B-A)	200	120	230	140	
増減率(%)	1.2	25.0	56.1	50.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年12月期第2四半期)	17,286	96	116	51	4.72

平成29年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	34,000	1,200	1,050	700	63.90
今回修正予想(B)	34,200	1,320	1,280	840	76.68
増減額(B-A)	200	120	230	140	
増減率(%)	0.6	10.0	21.9	20.0	
(ご参考)前期実績 (平成28年12月期)	33,544	515	110	11	1.05

#### 修正の理由

第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高はほぼ当初の予想通り推移する見込みです。利益面につきましては、第1四半期において年初における評価レートが円安に進行したことに伴い、仕入値引ドル建債権の評価額の増加を含む為替レート変動による影響が+102百万円発生しました。また第2四半期においては、円高進行により同様の影響が△40百万円発生することが見込まれ、これらの半期の累計額+62百万円が原価を押し下げることとなります。また、販売費及び一般管理費が減少することが見込まれるため、営業利益が増加し業績予想を上回る見通しです。また経常利益につきましては、第1四半期に為替差益が100百万円発生したことなどを考慮し、当初見通しを上回ると想定しております。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、経常利益の増加に伴い業績予想を上回る見通しです。

この仕入値引ドル建債権は、一部の主要仕入先との取引方法において発生します。量産案件において特価を提示する場合、実際の仕入値の減額ではなく、当社がお客様に製品を出荷したことを仕入先に報告することによって、仕入先から仕入値の減額相当分の値引債権が発行されます。この値引債権がドル建であるため、為替相場の変動によりドル建債権の評価額が増減します。評価額の増減については、半導体製品の値決め時の為替レートと納入時の為替レートの差により発生するため、ドル円相場が円高に進行する際には評価額がマイナスになり、特に為替変動が急速である場合には評価額の減少が大きくなります。

通期連結業績予想につきましては、上述の第2四半期連結累計期間における業績修正の内容を反映させ修正しております。なお、第3四半期以降の業績見通しについては、為替変動の影響を見込むことが困難なため、為替変動による影響は加味しておりません。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以上